

しなの川

題字 末武女性連会長

平成20年度 県女性連スタート



末武女性連会長



平成二十年県女性連通常総会が、去る五月二十六日（月）新潟市「ホテル新潟」において、九十七商工会から一六七名の出席のもと開催されました。

末武女性連会長と連合会久住専務理事から挨拶を頂いた後、全員で「商工会女性部の歌」を斉唱し、宮崎女性連理事の合図で「誓いの言葉」を唱和しました。

その後、司会進行役である塚野女性連副会長は出席者数を報告し、本日の総会が有効に成立する旨報告されました。続いて、渡辺女性連副会長を議長に選任し、議事の進行に入りました。

提出された第一号、第二号、第三号議案については、慎重審議の結果、満場一致で全議案が承認決定されました。

議案については以下のとおりです。

第一号議案 平成十九年度収支更正予算の承認について

第二号議案 平成十九年度事業報告並びに収支決算の承認について

認について

第三号議案 平成二十年事業計画並びに収支予算の決定について

続いて、平成十九年度商工会女性部員増強運動における優良商工会女性部の表彰が行われました。部員増強表彰にあたっては、「新規加入部員数」「上位五商工会女性部並びに「増加率」上位五商工会女性部を選定しました。

なお、平成十九年度商工会カード加入促進運動における優良商工会女性部の該当商工会はありませんでした。

受賞商工会からのコメントは

二～三面に掲載してあります。

平成19年度 優良商工会女性部紹介

〔新規加入部員数上位5商工会〕

黒埼商工会女性部	〔10名〕
塩沢商工会女性部	〔9名〕
中之島町商工会女性部	〔7名〕
吉田商工会女性部	〔6名〕
巻商工会女性部	〔4名〕

〔増加率上位5商工会〕

塩沢商工会女性部	〔128.57%〕
中之島町商工会女性部	〔114.29%〕
黒埼商工会女性部	〔107.41%〕
能生商工会女性部	〔105.26%〕
小国町商工会女性部	〔104.76%〕

なお部員増強運動表彰において黒埼、塩沢、中之島町については、重複のため、計7商工会女性部に対して連合会久住専務理事から表彰状が授与されました。

受賞された女性部の皆様、おめでとうございます！



部員増強運動優良表彰 を受賞して

中之島町商工会女性部 部長
原田 弘子

この度の部員増強運動優良表彰をうれしく、また、ありがたく受けさせて頂きました。これも女性部員の皆様が、積極的に声をかけてくださったこと、そして事務局の協力があつたからこそと感謝しております。

まず一歩、動いてみなければ始まりませんし、やってみなければ何も変わらないと思います。女性部員一人一人が、明るく楽しんで活動している姿を見ていただくことが、部員増加につながると確信しております。ありがたいことに、ここ1～2年、若い新部員さんの入会が増えていくのですよ。

そんな中で、今後は私たちの先輩が築きあげてくださった歴史を大切にしながら、新しいことにも取り組み、パワー全開で私たち女性部の活性化に努めてまいります。



利用しないともったいない

黒埼商工会女性部 部長
長谷川 春美

私たち黒埼商工会女性部も皆さん同様、部員のやむを得ない退部が発生します。「欠員になったら補充」を合言葉に部員、事務局一体となって取り組んできました。

部員「女性部に入りませんか？」

Aさん「女性部に入ったらいいことある？」

部員「ある！楽しい！」

Aさん「何となくわかる。宴会とか・・・」

部員「それだけじゃない、ためになる！」

Aさん「えっ？本当？」

部員「研修会や講演会があるし勉強できる。だから利用しないともったいない！」

といった感じでお誘いし、10名の方に入部していただきました（10名の退部ではありませんが）。キーワードは世界共通語となった「もったいない」です。また、同業者が複数名入部していただいたことも特徴で、昔なら商売敵とでもいったところですが、反対に誘い合つての入部でした。楽しくなければ人は足を運びませんが、楽しいだけではないということのアピールし、新規部員増強に取り組んでいきたいと考えています。



「和」を大切に

塩沢商工会女性部 部長
安達 明子

関東ブロックの大会では多数の参加で、無事終わりました。私たち塩沢商工会女性部も出店し、結果も良く部員の団結が大切だということを実感しています。誓いの言葉どおり、町の活性化がいかに大切かということと、部員の人たちの意見を大事にして、事業の取り組みに力を入れています。

部員の皆さんから部員増強に力を入れてもらい、この度、表彰されましたこと、本当にありがたいと思っています。その後も入部者があり、感謝の気持ちでいっぱいです。

部員の皆さんは町の事業に積極的に参加していく気持ちが高まり、10月には町おこしの一貫として、着物を各商店に飾り、また、産業まつりにも女性部として参加しています。

私自身、毎年の研修旅行をメインにして、女性部の「和」を大切にすることを第一にと思っています。これからも女性部の発展のために努力したいと思っています。





部員増強運動 優良表彰を受賞して

小国町商工会女性部 部長

米 山 ハル子

私たち小国町商工会は昭和55年に設立し、昨年2名の
新部員を迎え、現在部員21名です。女性部担当の小林さん
から「女性部員増強運動増加率で5位入賞しましたよ」
の連絡に、「えっ、うそ〜。何かの間違い？」でも、ステ
キな賞をありがとうございました。女性部一同で喜びを分
かち合いました。

今年も手分けをして、未入会女性部員宅訪問を楽しく
やっています。子育て奮闘中の人、親の介護に涙ぐましい
努力をしている人、訪問したこちらが勇気をもらいな
がら、断られても疎遠にならないように、明るい声かけ
を続けています。

今年は、女性部の魅力づくりになればと立ち上げた「フ
ラダンス教室」が、計画どおりにはいかず、先生の体調
不良でお休み。でも、めげずに商工会女性部の歌の一節
に、「やさしい心をもち寄り住みよい理想の街づくり」
とあります。たゆまず、焦らず、無理をせず、皆で楽し
み共感できる組織づくりに、ただ今奮闘中です。



魅力いっぱいの『女性力』

吉田商工会女性部 部長

宮 路 由 子

部員増強運動での受賞は、本当に嬉しいです。部員が
増える事で、一個人が持っている魅力(知恵や経験)が部
会に人材として財産となり、女性部活動に大きくプラス
になると確信しているからです。それでは、魅力ある女
性とは？

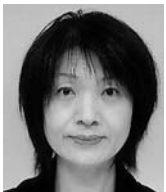
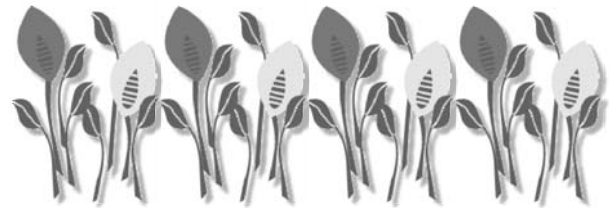
その①弾力ある脳…色々な可能性を考えられる力。

その②懐深い心…他の人の話をよく聞き、理解する力。

その③素直な行動…無償の愛、ボランティアする力。

その④健康な身体…挑戦、継続する力。

と、この四つの力『老人力』？ならぬ『女性力』を持
っている人の事だと、私は思っています。この『女性力』
を、十分に発揮し地域活性化に活かしていければ幸いで
す。これからも女性部への入部の声掛けを続けていき、
益々魅力ある吉田商工会女性部になる事をお約束して、
受賞のお礼の言葉とさせていただきます。



華と歩みのある 仲間づくり

能生商工会女性部 部長

中 嶋 千代子

“部員が部員を呼ぶ” そんな形での増員でした。

新しく入られた部員さんから、早速できる行事に参加
してもらっています。花いっぱい運動・親睦旅行・研修
会。そして地元のまつりでのコロッケ作り(目標1,000個)
と販売、ほり出し物市と…

今期も2名の入部をいただいています。

これからも、より一層魅力ある“地域の女性による組
織”として、「華と歩みのある仲間づくり」をしていき
たいと考えております。

この度は表彰をいただき、本当にありがとうございました。



部員増強運動 優良表彰を受賞して

巻商工会女性部 部長

石 川 和 子

ここ数年は個人消費の伸び悩み等で、業種を問わず依
然として厳しい経営環境が続き、部員も年々元気を失い、
減少傾向にありました。

しかし、同じ地域で経営している以上、皆も条件は同
じ、苦しさも一緒ですので、落ち込んでいても良いこと
はありません。「この辛い時こそ女性特有の仲間づくりで
情報交換をし、この危機を乗り越えなければならない！」
と仲間づくりである部員増強運動に取り組みました。

部員ひとりひとり「声かけ運動」をやったりしまし
たが、なかなか結果に結びつきませんでした。それでは「業
種別に当たってみよう！」ということで、工業部関係の事
業所から訪問しはじめたところ、一人が入部してくれ、
その人から次の未加入者を紹介していただき、また次、
次といった具合に、紹介をしてもらうことで、部員を増
やすことができました。

この運動を通して、諦めたり、めげたりすることなく、
「活動することは何らかの結果を残すことができる」、
という自信が持てました。



女性部長研修会並びに女性部主張発表大会

5月26日(月)新潟市中央区万代「ホテル新潟」

五月二十六日(月)県女性連通常総会終了後、女性部長研修会が開催されました。

女性部主張発表大会では、県内六ブロックから選出された代表者六名から主張を発表して頂きました。(後述)

その後、全国商工会連合会、寺田範雄 専務理事を講師に迎え、「商工会を取り巻く中央情勢について」をテーマに研修会を行いました。

内容は、原油価格の高騰やサブプライムローン問題の影響等によって、全国的に景気は悪化傾向にあり、特に、中小企業は全般的に強く影響を受けている。また、



全国商工会連合会
専務理事 寺田範雄 氏

景気低迷や経営者の高齢化・後継者不足による廃業等の影響で、商工会員数、青年部・女性部の部員数が減少している。

また、市町村合併に伴い、三つに一つの商工会が商工会議所と併存となり、従来、町や村だった地域では、商工会が地域に残された唯一の地域団体となっており、こうした地域では、密着したきめ細かい経営支援やまちづくりで、地域の発展を支えることが必要である。

「個々の中小企業の皆様が積極的に各種支援メニューを活用し経営を向上させ、それを商工会が適切にサポートし、地域経済全体の活性化を実現するため、女性部の皆様と共に日々前進していきたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。」と講演されました。

女性部主張発表大会

発表者及びテーマのご紹介 (敬称略・発表順)

- 1 加治川 中野 壽
「女性部活動に参加して」
地域の中のさやかな女性部活動
- 2 羽茂 新屋 久江
「女性部活動と地域振興・まちづくり」
「おいらんど中」に魅せられて
- 3 柿崎 高野 満枝
「女性部活動と地域振興・まちづくり」
地域交流の輪の中で
- 4 村松 金子トシ子
「女性部活動と地域振興・まちづくり」
女性部からの提案 今私達に出きる事、
女性部からのご提案 今私達に出きる事、
未来づくりに参加してみませんか
- 5 上村由起子
「女性部活動と地域振興・まちづくり」
おもてなしの心で地域の活性化を
- 6 富井富士子
「女性部活動と地域振興・まちづくり」
女性部活動と地域振興・まちづくり

主張発表大会は、日頃の女性部活動等を通じて得た体験や成果等を発表し、相互研鑽することで、女性部リーダーとしての意識の高揚や資質の向上を図ることを目的として開催されています。

今回は、代表者六名の方々より、女性部活動を通じて培った経験と、その成果を発表していただきました。審査委員長の新潟県産業政策課前田主任をはじめ、四名の審査委員による厳正な審査の結果、最優秀賞には、村松商工会女性部の金子トシ子さんが選ばれました。また、他五名の方々には優秀賞が贈られました。

なお、最優秀賞受賞者の金子さんは、新潟県代表として七月三日(木)に当県の朱鷺メッセで開催された、「関東ブロック商工会女性部主張発表大会」に出場されました(五面参照)。

最優秀賞

発表者 ひとことメモ



商工会女性部 主張発表大会に参加して

村松商工会女性部
部長 金子トシ子

私達女性部の活動を、五月二十六日の新潟県大会、そして七月三日の関東ブロック大会と、続けて発表させていただきました。その関東ブロック大会では思いがけず「優秀賞」という大きな褒美をいただきました。多くの会員の皆様がそれぞれの地域でがんばって活動されている中で、私達村松商工会女性部の活動も認めていただいた事、本当にうれしく思っています。

とりあげてみれば一つ一つはともさきいな事です。私達は「できる時にできる人が」を合言葉に、部員全員で支え合ってきました。参加できる時に、お手伝いできる人が、と決して無理せず活動してきたその小さな事の積み重ねが、今回の受賞につながったものと思っています。部員全員でこの大きな賞をしっかりと受けとめ、私達のエネルギーになく事ができればと思っています。そして「今、私達にできる事」を探しながら新しい事にチャレンジしていきたいと考えています。県女性部の皆様、県連の皆様、これからもよろしく願いたします。そして本当にありがとうございます。

平成20年度 関東ブロック商工会女性部交流研修会

七月三日(木)・四日(金)の二日間、関東ブロック商工会女性部交流研修会が約一、四〇〇名の参加を得て開催されました。

一日目は、「朱鷺メッセ」を会場に、関東ブロック主張発表大会が開催され、各都県連の代表者による発表がありました。充実した内容で、レベルの高い大会となりました。成績は次のとおりです。

最優秀賞

栃木県 二宮町商工会女性部

柴山 節子さん

優秀賞

新潟県 村松商工会女性部

金子 トシ子さん

優良賞

静岡県 金谷商工会女性部

奥村 逸子さん



サンアロー(株) 代表取締役社長
駒形 勝也 氏

なお、最優秀賞の柴山さんは、関東ブロック代表として全国大会(宮崎大会) 十月開催へ出場することとなりました。

主張発表大会に続いて、サンアロー(株) 代表取締役社長 駒形 勝也 氏を講師に、「体験体感から時代を読む」と題し講演が行われました。

その後、会場を「ホテルオークラ新潟」へ移動し、三六五名の参加のもと、情報交換会が行われ、各県の芸能を披露しながら大変和やかな雰囲気の中、他県の女性部の皆様と交流しました。

二日目は、県外参加者一〇八名で新潟コースと佐渡コースに分かれ、エクスカージョンを開催し、新潟を広くPRし、新潟を満喫していただきました。



関東ブロック商工会女性部 交流研修会に参加して

見附商工会女性部 部長 五十嵐 トシ

七月三日の交流研修会には、毎年感動させてもらえる主張発表を楽しみに、見附から十一名で勢参加いたしました。一四〇〇名余の大勢の参加に、朱鷺メッセの広い会場は熱気であふれていました。

十一名の主張発表を聞かせていただきましたが、どの方もすばらしく感動いたしました。

発表者の話を聞きながら、私たちが見附商工会女性部の活動を考え直すいい機会になりました。

今思うと、私たちがもたたくさんの行事・活動をしてまいりましたが、ボランティア的な面が多かったのでは……。

商工会員なんだから、地域の人たちを巻きこみながら、商売になる行事もやらなければと痛感いたしました。

主張発表大会・ホテルオークラ新潟での交流会・楽しい二次会へと続き、日ごろのストレスも発散し、その日の就寝となりました。



翌日は、見附商工会女性部の研修として、「栗山米菓せんべい王国」の視察体験を行い、見学の後、私たちもせんべい焼きを体験しました。お昼は、ホテルイタリヤ軒別館「蛭」で、おいしい懐石料理をいただき帰路につきました。

一泊二日の研修視察において、いい体験と楽しいひと時を過ごさせていただきました。

今後は、この主張発表を参考に、新しい視点も加えながら、女性部活動を展開していきたいと思えます。



豊浦商工会女性部

渡辺 富子

“地域の為にお役に立つ”という事

月岡温泉で有名な豊浦商工会女性部です！
現在、部員は三十名足らずと少数ですが、「地域のお役に立つこと」をモットーに、楽しく仲良く活動しています。

地域への奉仕活動事業として、まず、「花いっぱい運動」ですが、年に二回地区内の保育園や小中学校を訪れ、植栽のお手伝いや鉢花の贈呈を行っています。色とりどりのお花は、入学式や卒業式といった一大イベントを華やかに彩り、毎年大変ご好評頂いております。

さらに、毎年地区内小学校の新入生のために、交通安全の願いを込めた「愛の鈴」を作成し、贈呈しています。この活動は三十年以上も渡って継続しているため、地域の皆様にも、女性部からの愛情のこもった贈り物として定着しており、先生や子供たちは勿論、保護者の皆様にも大変喜ばれています。

平成十五年の市町村合併により、それまで参加していた旧豊浦町のイベント等もすっかりなくなってしまう、その時は少し寂しい思いもしました。しかし豊浦町がなくなったということで、地域への思いは「層強くなり、今後も、地域の皆様のために、これまでと変わらずお役に立ちたい」というスタンスが、更に明確なものとなりました。



紹介した事業は、ささやかなものではあります。が、いずれも古い歴史があり、今後も未永く続けていきたいものばかりです。もっともつと仲間たちを増やし、更に地域に貢献できるよう、これからも頑張っていきたいと思えます。

は私たちの手で！



山古志商工会女性部

五十嵐 芳枝

山古志より「ふっカツ」から復活へ

四年前の中越地震では、皆様のお世話になり心より感謝いたします。私たち女性部も一日も早く元の生活に戻る日を願い、私たちの合言葉でもある「何事にも希望を持ち、前より前へ」の心意気で誕生したのが、「ふっカツ」です。田中悦子副部长さんの「ふ」をカツにしてみない？」の一声から始まりました。

役員一同、田中副部长の指導を受け、全部員に声をかけ、産業まつり、古志の火まつり、闘牛の開催日に行われる「ありがとう広場」に出店させて頂いています。災害後の復活。テレビ局の目にも止まり、ネーミングも「ふっカツ」と名づけ、今では食堂、民宿の一品としてお願いしています。車ぶを主役に地元の醤油で特製たれを作り、洋風に揚げたものが「ふっカツ」です。最近では、集まるごとに色々な意見が出て楽しい一日の始まりです。これからも、「ふっカツ」から「復活」で頑張ります。





部員が気持ちを一つにして

一つにして

柿崎商工会女性部

佐藤 恵子

私たち柿崎商工会女性部は、地域の活性化、そして地域に密着したボランティア活動に力を入れています。

五月四日には、今年で五回目となる、「みなとさかな祭り・鍋りんピック」が開催されました。柿崎住民はもちろん、近隣市町村からも大勢の方が来てくださり、大変盛り上がりしました。「鍋りんピック」というのは、各まちづくり団体がそれぞれ独自の鍋料理を販売し、どの鍋が美味しかったか、お客様から投票していただき、順位を決めるといふものです。今年度は、我が女性部が「春の恵み・ほろよい鍋」というタケノコ汁で、見事「金なべ賞」の栄冠に輝くことができました。

また六月に開催されます「お引き上げ商工祭り」では、部員の方が持ち寄った品物でチャリティバザーを行い、収益金を社会福祉協議会に寄付しております。昨年は、小中学生が授業で使える、「疑似体験セット」を差し上げたところ、大変喜んでいただきました。子供たちのお年寄りに対する思いやりの気持ちが育つてくれれば、大変嬉しく思います。

今後も地元内外との交流を深め、まちの振興・活性化に繋げるべく、部員が気持ちを一つにして活動していきたいと思います。



女性部 活動事例紹介

あすの地域



大盛況の秋の茶会とお宝めぐり

真野商工会女性部

中川 敏子

今年で、第五回目を迎える商工会の大きな事業の一つに、秋の茶会があります。毎年十一月初旬に行われて、地元商店街の活性化と町おこしのために、役員が一丸となつての茶券販売やインターネットでの島外発信で、年々お客様が増えて二日間二、〇〇〇人を超えるようになりました。又今年も、一ヶ月時期を早くして十月十二日、十三日に妙宣寺と、ホテル静海荘で開かれる予定となっております。昨年迄のみどころとして、国の有形登録文化財となった旧森医院の庭園は、「街中にこんなお庭があるのかしら」と思うぐらいすばらしいお庭です。

また、真野には沢山のお宝や骨董品がありますし、皆様方に公表出来て初めて価値があるのではないかなと思います。皆様、機会が有りましたら是非、佐渡の真野に来て下さい。お待ちしております。



● 今後の予定

県女性連

☆第10回 商工会女性部全国大会（宮崎大会）及び県外視察研修

日 時：10月26日（日）～29日（水）

場 所：シーガイアサミットホール（宮崎市）他

県女性連ホームページ リニューアル！



<http://www.shinsyoren.or.jp/women/women.html>

女性部活動を広げる場として、県女性連公式ホームページを開設しています。女性部ロゴマークもダウンロードできます。ぜひ、ご活用ください。

新潟県藤風協会への募金御礼

5月26日の県女性連通常総会の際に、皆様からご協力いただきました募金額の合計は78,110円になりました。早々のうちに協会に届けてまいりました。ご協力大変ありがとうございました。

新潟県藤風協会は、ハンセン病で心ならずも療養生活を送られる新潟県出身者の方を励まし、温かく迎え入れる環境づくりなど、愛の運動を行っています。

今後ともご理解とご支援のほどよろしく願いいたします。

編集委員

〈県女性連正副会長〉

末武 栄子・五十嵐芳枝

渡辺 暁子・金子トシ子

塚野 隆子

〈事務局〉

新潟県商工会連合会組織指導課

「しなの川」担当係

電 話 ○二五―二八三一―一三一

FAX ○二五―二八五一―二五二



本誌の発行に際しまして、ご多忙の時期に関わらず、ご寄稿等ご協力頂きました皆様方に心から感謝申し上げます。「しなの川」も本号で五十二号となりました。

今後とも充実した誌面内容になるよう各女性部の皆様のご協力をいただきながら、がんばってまいりますので、掲載希望等がございましたら、事務局までお申しつけください。今後ともよろしくお願いいたします。

あとがき